

【生徒の意見、提案など】	生徒からの質問	【市長の考えなど】	担当課
<p><b>【高齢者問題】</b> 市内には、老人福祉センターや老人憩いの家、高齢者交流広場などがあります。私たちの福地校区にも、せんねん村や老人ホームいちごなど高齢者施設があります。高齢者施設については、入所待機者がいると聞いたことがありますが、そのような状況を改善していく必要があると思います。今後、高齢者は増えていくため、高齢者が安心して生活できる環境づくりが必要だと思います。例えば、今後、新たな施設を作る場合は、浸水被害や地震、津波にも心配のない場所を選ぶことです。また、高齢者自身が介護予防や認知症予防などに取り組むことも大切だと思います。また、市内の老人クラブの加入者が、平成25年から平成28年度までに約2400人も減っていることを知り驚くと同時に、高齢者の人口は増えているのに、加入者が減っているということに疑問を持ちました。</p>	<p><b>【質問1】</b> 市では、介護予防や認知症予防のために何か取り組みを行っていますか。</p> <p><b>【質問2】</b> 老人クラブ加入者が減った原因は、何だと思えますか。また、老人クラブの人たちは、加入者を増やすための取り組みを何か行っているのでしょうか。</p>	<p><b>【市長】</b> 認知症になった後や介護状態になった後のことを考えることも、もちろん大切ですが、今は、そういった状態にならないための予防に力をいれることが大事な事です。西尾市としては、介護予防として、高齢者を対象とした運動を中心に行うシルバー元気教室という事業を市内24か所で開催しています。宅老所やサロンは、ある程度元気な高齢者の皆さんが集まり、話しをしたり、歌をうたったりと楽しく過ごす場所で、市内に28か所あります。認知症予防については、認知症サポーター養成講座を行っています。認知症の方々に対し、自分に何ができるか学ぶ場所として行っています。また、実際に介護している人たちの集まりで、認知症介護家族交流会という会があり、実際に介護している家族同士が意見交換し、悩みや対応の仕方など情報交換することで気持ちの上での負担軽減を図っています。</p>	福祉課 長寿課
<p><b>【提案】</b> 老人クラブへの加入者が増えれば、ひとり暮らし高齢者の閉じこもりなどが減り、元気な高齢者が増えると思います。元気な高齢者が増えれば、高齢者施設へ入所する人も少なくなるのではないかと考えます。老人クラブへの加入者を増やし、元気で生き生きと暮らす高齢者を増やすためには、老人クラブの魅力は今よりも増やすことが必要です。例えば、地域の子どもたちとかかわる行事を増やしたり、会員以外の人でも参加できる仕組みを作ってはどうかと思います。福地中学校では、1年生の総合学習で「福祉体験学習」を行っています。市内の高齢者施設や障害者施設に行き、介護の仕事を手伝ったり、高齢者や障害者の皆さんとふれあう活動をしています。以前、高齢者施設へ行く機会があり、入居者の方の話を聞いたり、一緒にゲームをしました。皆さん、とても喜んでくださり、私も楽しく貴重な体験をしました。今後、老人クラブ活動を魅力的なものにするためには、他の団体の皆さんや地域の子どもたちとの交流を増やすとともに、自分たちの特技や経験、知識を生かした活動を行うことで、やりがいや生きがいを感じて欲しいと思います。</p>		<p><b>【市長】</b> 老人クラブ会員の減少については、年齢を重ねてからも元気な方々が増えたことだと考えます。昔の60、70歳ぐらいの人と今の同年代の人たちではずいぶん様子が違っており、まだまだバリバリ働ける方々が多いと思います。昔は、会社を退職し、第2の人生は老人クラブに入るという方が多かったと思いますが、今は、シルバー人材センターなどに登録し、週に何日かは特技や経験を生かし仕事をしている方が多いと思います。また夫婦での時間や趣味に費やす時間を大切にしている人など、定年後の余暇の過ごし方などに選択肢が増えたことなどが要因ではと思っています。老人クラブ会員を増やしたり、活動を活性化させる取り組みとしては、地域の子どもたちとの交流はとても良いことだと思います。経験豊富な皆さんの話はとてもためになります。また、高齢者の皆さんも子どもたちと交流することで元気をもらうことができると思います。最近では、老人クラブ組織の中に成年部というものを組織し、新しい会員を増やすための取り組みも行っているようです。</p>	